

阪神淡路大震災取材映像アーカイブ企画

ぼうさいこくたい 2023 ワークショップ出展

取材映像で知る「大地震が起きたら私たちはどうなる」

首都直下地震に備える教育現場での実践法

9月17日(日) 16:30～

朝日放送グループホールディングス株式会社(本社:大阪市福島区、代表取締役社長:沖中 進)は、今後の防災・減災に役立てるために、グループCSR活動の一環として当グループが保有する災害取材映像を多様な方法で公開しています。2020年1月には、Web サイト「阪神淡路大震災取材アーカイブ」(<https://www.asahi.co.jp/hanshin-awaji-1995/>)を公開し、大きな反響をいただきました。またこのアーカイブサイトを広くご活用いただけるよう、震災当時と今の様子を Web サイト上で見比べるバーチャルツアーや、Web サイトと連動した書籍『スマホで見る阪神淡路大震災』の出版などを行ってきました。

今回は、来月神奈川県横浜市で行われる「ぼうさいこくたい2023」において、上記ホームページに併設した e ラーニングサイト「大地震が起きたら私たちはどうなる」(<https://www.asahi.co.jp/hanshin-awaji-1995/e-learning/>)を活用したワークショップを実施いたします。いつ起こってもおかしくない首都直下型地震に備えるために、阪神淡路大震災の取材映像でどんなことが学べるのか、教育現場での実践例をご紹介します、これからの防災教育をみなさんと一緒に考えます。

会場の横浜国立大学での参加はもちろん、Zoom からリモートでのご参加も可能です。教育関係者だけでなくどなたでもご参加いただけます。メディア、SNS 等でのお取り上げをお願い申し上げます。

記

【タイトル】 防災ウェビナー:取材映像で知る「大地震が起きたら私たちはどうなる？」

*ぼうさいこくたい2023HP <https://bosai-kokutai.jp/2023/w-03/>

【日時】 9月17日(日) 16:30～18:00 (1時間30分)

【概要】 避難所の厳しい現実や、食料、トイレの実態など、都市直下型地震でどんなことが起こるのか？ 関東大震災から100年となる今年、28年前の都市直下型地震である阪神淡路大震災のリアリティのある映像から、どのように学ぶことができるのかを考えるウェビナーイベント
実際にeラーニングを使用した中学校授業の報告、eラーニング授業テストケースなどを紹介し、映像を使ったコミュニティ、教育現場での防災教育の可能性についてディスカッションします。

【開催形式】

現地・オンライン併用のハイブリッド開催 (参加無料:事前の登録をお願いします)

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZUud-6srTljGtBhF9SvbJtjXdxMxpEMcVp8>

【主催】 朝日放送グループホールディングス

eラーニング「大地震が起きたら私たちはどうなる？」【使用例】

https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/e-learning/

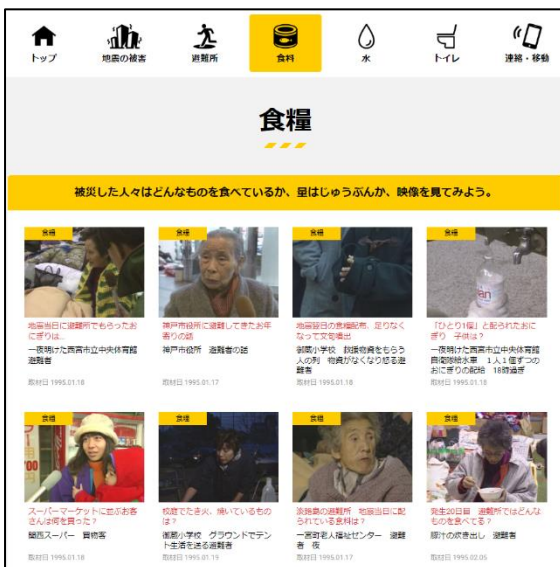


タイトル画面には、大地震が起きたときの「地震の被害」「避難所」「食料」「水」「トイレ」「連絡・移動」のボタンがあります。

子どもたちにとって漠然としたイメージできない「大地震」授業を始める前に、イントロ動画を視聴して学ぶ目的を明確にします。



6つのテーマにある各映像クリップに視点を提示しています。子どもたちはグループに分かれて視聴→ディスカッション→発表の過程を経て、「地震の備え」を幅広く意識してもらいます。



動画のテーマについて、「もっと掘り下げたい」場合は関連動画を紹介しており、視聴できます。



「地震の被害」「食料」「トイレ」「連絡・移動」には最低限備えてほしい解決策の「ヒント」を動画で提示。議論がまとまらない時などで、総括する入り口にご使用できます。

